

IMF「世界経済見通し」(2023年7月時点)

2023年7月26日

## ～IMFは2023年の世界の経済成長率見通しを上方修正～

## ◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は7月25日に発表した「世界経済見通し」で、2023年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを3.0%と、2023年4月に示した前回の見通しから0.2ポイント上方修正しました。また、2024年の経済成長率見通しは3.0%と据え置きました。

世界全体で見ると、先進国（観光に依存する南欧諸国を含む）を中心にサービス消費が原動力となり、サービス部門が底堅く推移したことから2023年の世界経済の成長率は上方修正されました。しかしながら、新型コロナウイルス禍後の経済の急回復を経て、世界各国で急速にインフレが進み2021年の経済成長率は6.3%に達したものの、利上げ等の金融引き締めにより2022年は3.5%、2023年と2024年の見通しは3.0%と、2000年～2019年の経済成長率3.8%（年平均）と比較すると、成長が鈍化しています。

IMFは、2023年の経済成長率見通しを先進国では1.5%と0.2ポイント、新興国では4.0%と0.1ポイント、米国や日本、ユーロ圏、中国といった幅広い国や地域で見通しを上方修正しました。また、日本の見通しは、景気回復とともに一時的に拡大した需要（ペントアップ需要）と金融緩和政策の継続を背景に小幅ながら上方修正されました。

一方、世界のインフレ率は2022年の8.7%から2023年には6.8%、2024年には5.2%に鈍化する見込みであるものの、両年ともパンデミック前の水準である約3.5%を上回っており、IMFは引き続きインフレの抑制が優先課題であると指摘しました。さらに、エルニーニョ現象による干ばつやウクライナ戦争により食料・燃料等の価格が上昇し、再びインフレが進む懸念もあります。

## ◆ IMF「世界経済見通し」(2023年7月時点)

	IMF見通し			
	2023年	前回比	2024年	前回比
世界	3.0%	0.2%	3.0%	0.0%
先進国	1.5%	0.2%	1.4%	0.0%
米国	1.8%	0.2%	1.0%	-0.1%
日本	1.4%	0.1%	1.0%	0.0%
ユーロ圏	0.9%	0.1%	1.5%	0.1%
新興国	4.0%	0.1%	4.1%	-0.1%
中国	5.2%	0.0%	4.5%	0.0%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。